

美術館利用研究会 → 美術館利用研究会概要

■ 目的

学校教員等をはじめとする教育関係者と当館教育普及担当との協力により、美術館の利用をさらに推進させる具体的な手だての研究を行い、美術館利用の拡大を目指す。

■ 主催

埼玉県立近代美術館

■ 対象

小・中・高等学校の教員等（委嘱10名）

■ 委嘱期間

1年間 年間12回の研究会を行う。

■ 内容

- (1) 学校との連携を充実させる具体的な方法の研究、提案と発信
- (2) 鑑賞教育、美術館教育等に関する情報交換など

■ その他

研究会はその充実のために美術教育に関心のある者ならば自由に参加、聴講できるものとする。

これまでの取り組み

【平成 25 年度】

「複製画《積みわら》を使った授業プログラム研究」

【平成 24 年度】

「アート・カードを使った授業プログラム研究」

【平成 23 年度】

「複製画 岸田劉生《路傍初夏》鑑賞プログラム研究」

【平成 22 年度】

「美術館との連携・実践事例研究」「複製画 岸田劉生《路傍初夏》鑑賞プログラム研究」「夏休みレポートヒントとポイント制作」

【平成 21 年度】

「子どもの絵の見方の研究及び教員美術講座『こころを見つめる目』運営」「ドローイング1000まいプロジェクト運営」

【平成 20 年度】

美術館活用法の研究

【平成 19 年度】

学校で使える美術館資料・体で楽しむ美術館見学プログラムの開発

【平成 18 年度】

「複製画活用プログラム集」の作成と発表（教員美術講座）

【平成 17 年度】

美術館ジュニア・ガイド（子ども向け美術館ガイド）研究・作成

「複製画活用プログラム」の活用方法の研究

【平成 16 年度】

「先生が考えた美術館の楽しみ方」研究と発表（教員美術講座）

【平成 15 年度】

美術館活用法の研究

【平成 14 年度】

美術館の楽しみ方（初級・中級・上級編）研究と鑑賞ツール開発

【平成 13 年度】

収蔵作品を活用した鑑賞プログラムの研究・試作